

## 4. 正答率と相関のある指導の分析

### (1) 小学校第6学年結果分析

#### 1) 学習について

#### ■ A層～D層の差が大きい設問（上位10問）

設問番号	設問内容	肯定的な回答をした児童の割合(%)					
		A層	B層	C層	D層	A層～D層	宇都宮市
問1(6)ア⑤	自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。	87.7	76.9	65.4	53.5	34.2	70.8
問1(6)ウ③	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	81.2	73.5	66.9	55.4	25.8	69.0
問1(6)ウ②	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	65.4	63.4	55.6	45.3	20.1	57.6
問1(6)エ④	自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。	74.5	71.5	65.1	55.6	18.9	66.6
問1(6)オ②	社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。	81.9	74.3	68.3	64.1	17.8	72.1
問1(6)イ①	学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。	85.3	82.8	77.0	67.6	17.7	78.1
問1(6)オ⑥	いろいろな種類の本を読むことは、楽しい。	86.9	80.5	74.2	69.4	17.5	77.4
問1(6)ア⑥	ものごとをいろいろな視点や立場から考えている。	87.3	82.9	77.7	70.2	17.1	79.4
問1(6)エ②	宿題はきちんとやり、期限までに提出している。	95.5	94.0	88.4	78.5	17.0	88.8
問1(6)ア④	グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している。	88.3	85.3	79.5	71.3	17.0	80.5

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 小6において、問1(6)(学習についての設問のうち、教科についての意識及び時間についての設問を除く)の34問の中で、A層～D層の差が大きかった上位10問の内訳を見ると、(6)ア(授業への取組についての設問)が3問、(6)ウ(学習の仕方についての設問)、(6)エ(家庭での学習についての設問)、(6)オ(世の中のことへの興味・関心についての設問)が2問ずつなどであった。
- A層～D層の差が特に大きかった設問(上位3問)
  - ・ 「自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。」(+34.2ポイント)
  - ・ 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。」(+25.8ポイント)
  - ・ 「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。」(+20.1ポイント)
- 正答率上位層の児童は、根拠に基づく話し方が身に付いており、学びを振り返り次の学習につなげたり、新しく習ったことを繰り返し練習したりするなど、主体的に学習に取り組んでいる傾向などが見られる。

## 2) 生活について

### ■ A層－D層の差が大きい設問（上位10問）

設問番号	設問内容	肯定的な回答をした児童の割合(%)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問2(11)エ①	本や新聞を読んでいる。	63.1	51.7	42.3	33.4	29.7	47.4
問2(11)ア⑳	他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。	90.3	84.7	79.7	77.3	13.1	83.0
問2(11)エ④	夜は決まった時間に寝ている。	70.0	68.4	64.8	58.2	11.8	65.0
問3(1)	自分の携帯電話やスマートフォンを持っていますか。	60.6	60.4	67.6	71.6	-11.0	64.9
問2(11)ウ②	学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。	82.6	80.0	74.9	72.1	10.5	77.4
問2(11)ウ⑦	家の人は、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	97.0	94.3	92.6	89.1	7.9	93.4
問2(11)ア⑩	中学校の学習や生活が楽しみである。	81.4	80.6	77.6	73.8	7.6	78.6
問2(11)エ③	朝、自分で起きることができる。	72.1	71.7	69.1	65.0	7.1	69.6
問2(11)ア②	自分のよさを人のために生かしたいと思う。	90.5	89.8	87.5	83.6	6.8	88.0
問2(11)エ⑤	地域での活動(子ども会や育成会の行事など)に参加している。	54.7	56.2	55.5	48.4	6.4	53.9

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 小6において、問2（毎日の生活についての設問のうち、時間についての設問を除く）・問3（1）（携帯電話等の所持についての設問）の44問の中で、A層－D層の差が大きかった上位10問の内訳を見ると、(11)エ（家での過ごし方についての設問）が4問、(11)ア（自分自身のことについての設問）が3問などであった。
- A層－D層の差が特に大きかった設問（上位3問）
  - ・ 「本や新聞を読んでいる。」（+29.7ポイント）
  - ・ 「他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。」（+13.1ポイント）
  - ・ 「夜は決まった時間に寝ている。」（+11.8ポイント）
- 正答率上位層の児童は、本や新聞を読んだり、決まった時刻に就寝したりする習慣が身に付いていることが分かる。また、他国の人々や文化に親しみ、関心をもち、他国を尊重しようとする態度が身に付いている傾向などが見られる。

### 3) 学習や生活の時間について

#### ■ A層－D層の差が大きい設問（上位5問）

設問番号	設問内容	平均値(時間 分)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問1(5)②	休日の、1日の学習時間 (塾や家庭教師も含む) (平均値)	1時間37分	1時間5分	55分	42分	55分	1時間4分
問2(9)①	平日の、1日のゲーム機やスマートフォン、携帯電話、タブレット、パソコンでゲームをする時間(平均値)	56分	1時間12分	1時間28分	1時間49分	-53分	1時間22分
問3(3)①	平日の、1日の携帯電話やスマートフォンの使用時間(平均値)	40分	54分	1時間10分	1時間32分	-52分	1時間6分
問2(9)②	休日の、1日のゲーム機やスマートフォン、携帯電話、タブレット、パソコンでゲームをする時間(平均値)	1時間24分	1時間41分	1時間53分	2時間11分	-47分	1時間48分
問1(5)①	平日の、1日の学習時間 (塾や家庭教師も含む) (平均値)	1時間33分	1時間12分	1時間5分	52分	41分	1時間9分

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 小6において、学習や生活の時間についての設問の12問のうち、A層－D層の差が大きかった上位5問の内訳を見ると、1日の学習時間（平日：+41分、休日：+55分）、1日のゲーム機やスマートフォン、携帯電話、タブレット、パソコンでゲームをする時間（平日：-53分、休日：-47分）、1日の携帯電話やスマートフォンの使用時間（平日：-52分）であった。
- 平日・休日の学習時間はA層で長く、平日・休日のゲームをする時間、平日の携帯電話やスマートフォンの使用時間はD層で長い傾向が見られる。

## (2) 中学校第3学年結果分析

### 1) 学習について

#### ■ A層－D層の差が大きい設問（上位10問）

設問番号	設問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問1(6)ウ③	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。	90.8	79.5	65.6	49.5	41.4	70.5
問1(6)ウ②	新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。	82.2	75.4	64.1	48.5	33.8	66.1
問1(6)エ⑤	テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。	87.1	81.0	72.3	56.9	30.1	73.1
問1(6)ア⑤	自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。	90.6	82.7	75.4	62.1	28.5	76.7
問1(6)エ②	宿題はきちんとやり、期限までに提出している。	94.2	92.0	83.9	68.2	25.9	83.4
問1(6)イ①	学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。	89.6	86.2	78.0	66.5	23.1	78.7
問1(6)エ④	自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる。	72.7	67.0	62.0	51.8	21.0	62.3
問1(6)オ②	社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。	80.5	74.2	69.0	61.5	19.0	70.9
問1(6)オ①	社会のできごとに関心があり、自分から進んで情報を集めることがある。	76.2	70.1	66.1	58.2	18.0	67.4
問1(6)オ⑥	いろいろな種類の本を読むことは、楽しい。	84.2	78.4	73.0	66.3	17.9	75.0

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 中3において、問1(6)(学習についての設問のうち、教科についての意識及び時間についての設問を除く)の34問の中で、A層－D層の差が大きかった上位10問の内訳を見ると、(6)エ(家庭での学習についての設問)、(6)オ(世の中のことへの興味・関心についての設問)が3問ずつなどであった。
- A層－D層の差が特に大きかった設問(上位3問)
  - ・ 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。」(+41.4ポイント)
  - ・ 「新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。」(+33.8ポイント)
  - ・ 「テストでまちがえた問題は、もう一度やり直している。」(+30.1ポイント)
- 正答率上位層の生徒は、学びを振り返り次の学習につなげたり、新しく習ったことを繰り返し練習したり、テストで間違えた問題をやり直したりするなど、主体的に学習に取り組んでいる傾向などが見られる。

## 2) 生活について

### ■ A層－D層の差が大きい設問（上位10問）

設問番号	設問内容	肯定的な回答をした生徒の割合(%)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問2(11)エ①	本や新聞を読んでいる。	42.5	36.3	32.3	28.9	13.6	35.4
問2(11)エ②	家の手伝いをしている。	63.5	70.9	68.9	75.5	-12.1	69.5
問2(11)エ④	夜は決まった時間に寝ている。	64.1	61.8	56.2	52.8	11.3	58.4
問2(11)ア⑯	他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。	91.6	91.0	85.5	81.0	10.6	86.8
問2(11)ウ②	学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。	85.9	84.0	82.6	77.3	8.7	81.8
問2(11)エ③	朝、自分で起きることができる。	67.6	74.3	70.7	76.2	-8.6	71.9
問3(1)	自分の携帯電話やスマートフォンを持っていますか。	84.1	88.7	89.9	92.1	-8.0	88.5
問2(11)ア③	自分で決めたことは最後まで努力している。	88.8	87.9	83.3	81.1	7.6	84.9
問2(11)ウ⑦	家の人は、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。	93.5	94.5	91.2	86.6	6.8	91.3
問2(11)ア④	自分やみんなのためになることは、がんばってやろうとしている。	94.3	93.7	91.2	87.5	6.7	91.3

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 中3において、問2（毎日の生活についての設問のうち、時間についての設問を除く）・問3（1）（携帯電話等の所持についての設問）の43問の中で、A層－D層の差が大きかった上位10問の内訳を見ると、(11)エ（家での過ごし方についての設問）が4問、(11)ア（自分自身のことについての設問）が3問などであった。
- A層－D層の差が特に大きかった設問（上位3問）
  - ・ 「本や新聞を読んでいる。」（+13.6ポイント）
  - ・ 「家の手伝いをしている。」（-12.1ポイント）
  - ・ 「夜は決まった時間に寝ている。」（+11.3ポイント）
- 正答率上位層の生徒は、本や新聞を読んだり、決まった時刻に就寝したりする習慣が身に付いている傾向などが見られる。

### 3) 学習や生活の時間について

#### ■ A層－D層の差が大きい設問（上位5問）

設問番号	設問内容	平均値(時間 分)					
		A層	B層	C層	D層	A層－D層	宇都宮市
問1(5)②	休日の、1日の学習時間 (塾や家庭教師も含む) (平均値)	3時間10分	3時間3分	2時間45分	2時間13分	57分	2時間43分
問2(9)②	休日の、1日のゲーム機やスマートフォン、携帯電話、タブレット、パソコンでゲームをする時間(平均値)	57分	1時間9分	1時間23分	1時間44分	-47分	1時間20分
問3(3)①	平日の、1日の携帯電話やスマートフォンの使用時間(平均値)	1時間7分	1時間17分	1時間34分	1時間52分	-45分	1時間29分
問1(5)①	平日の、1日の学習時間 (塾や家庭教師も含む) (平均値)	2時間43分	2時間35分	2時間22分	1時間59分	44分	2時間21分
問2(9)①	平日の、1日のゲーム機やスマートフォン、携帯電話、タブレット、パソコンでゲームをする時間(平均値)	37分	45分	58分	1時間20分	-43分	56分

※A層～D層について：児童生徒を「学習内容定着度調査」の正答率によって25%刻みの層に分け、上位から順にA層、B層、C層、D層としている。

- 中3において、学習や生活の時間についての設問の12問のうち、A層－D層の差が大きかった上位5問の内訳を見ると、1日の学習時間（平日：+44分，休日：+57分），1日のゲーム機やスマートフォン，携帯電話，タブレット，パソコンでゲームをする時間（平日：-43分，休日：-47分），1日の携帯電話やスマートフォンの使用時間（平日：-45分）であった。
- 平日・休日の学習時間はA層で長く，平日・休日のゲームをする時間，平日の携帯電話やスマートフォンの使用時間はD層で長い傾向が見られる。

### (3) 考察及び指導の工夫・改善策

#### 小学校

○ 正答率が高い児童の方が、以下の点について肯定的に回答している傾向が見られる。

##### 授業での学習等

- ・ 自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。
- ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。
- ・ 新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。

⇒ 言語活動の質的向上を図るとともに、基本的な学習内容の確実な定着を図る。

- ・ 説明の場面では、「つまり」、「例えば」などの思考を整理する言葉を使うなど、根拠を明確にし、説明できるよう指導する。
- ・ 主体的に学習に取り組むことができるよう、実社会や実生活に関連した課題を取り上げたり、各教科等の「見方・考え方」を働かせて課題にじっくり取り組めるよう、発問や学習活動を工夫したり、授業で学習した内容について振り返りを丁寧に行ったりし、友達と関わりながら学習を進めるような授業を多く展開する。
- ・ 単元ごとにデジタルドリル等を活用した問題に取り組んだ上で、学期末や学年末のまとめの学習を充実させるなど、基本的な学習内容の定着を図る。

##### 家庭での学習・生活等

- ・ 自分で計画を立てて家庭学習に取り組んだり、宿題をきちんとやり、期限までに提出したり、学習に対して、自分から進んで取り組んでいる。
- ・ 夜は決まった時間に寝ている。
- ・ 学習時間が長く、携帯電話やスマートフォン、ゲームに費やす時間が短い。

⇒ 家庭学習の充実や基本的な生活習慣の定着を図る。

- ・ 学校全体の共通理解のもとに学習計画の立て方、宿題の内容や出し方、評価・点検の仕方等を工夫する。
- ・ 家庭での過ごし方を振り返り計画を立てるなど、自分の生活習慣を見直す活動等を行う。
- ・ 「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言 Ver.2」に基づく取組を推進する。

##### 家の人との関わり等

- ・ 学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。
- ・ 家の方は、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。

⇒ 家庭と連携・協働して認め励ます教育を推進する。

- ・ 学校の方針や取組、児童の成長などについて家庭に向けた情報発信を積極的に行うとともに、家庭と連携・協働しながら児童のよさを認め励まし、自己肯定感を育てる。

##### 地域や社会への関心等

- ・ 本や新聞を読んでいる。
- ・ 社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたことがある。
- ・ 他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。

⇒ 新聞や社会の問題を教材とした学習活動を工夫するとともに、郷土への愛情と誇りをはぐくむ学習や、様々な地域の文化を理解する学習などの充実を図る。

- ・ 本や新聞記事等から得た情報、感想などを紹介し合う活動を取り入れる。
- ・ 各教科や総合的な学習の時間等において、社会や身の回りの出来事の中から課題を見だし、調べたり考えたりする学習を行う。また、地域の教育資源、「道徳科地域教材」等を活用し、伝統を継承する人の生き方に触れる学習や、「宇都宮学」などの学習を通して、郷土の歴史、文化、伝統、産業、風土等について理解を深める指導を行う。

## 中学校

○ 正答率が高い生徒の方が、以下の点について肯定的に回答している傾向が見られる。

### 授業での学習等

- ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。
- ・ 新しく習ったことは、何度もくり返して練習している。
- ・ 自分の考えを、根拠をあげながら話すことができる。

⇒ 基本的な学習内容の確実な定着を図るとともに、言語活動の充実を図る。

- ・ 主体的に学習に取り組むことができるよう、実社会や実生活に関連した課題を取り上げたり、各教科等の「見方・考え方」を働かせて課題にじっくり取り組めるよう、発問や学習活動を工夫したり、授業で学習した内容について振り返りを丁寧に行ったりし、友達と関わりながら学習を進めるような授業を多く展開する。
- ・ 単元や学期ごとに復習する機会や、学年末のまとめの学習期間を設けるなどして、当該学年で身に付けるべき基礎・基本の確実な定着を図る。
- ・ 自分の考えを記述し説明する活動を取り入れ、「つまり」、「例えば」等の思考を整理する言葉を使うなど、論理的な表現の仕方が身に付くよう一人一人の状況に応じて指導する。

### 家庭での学習・生活等

- ・ テスト直しを行い、自分で計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。
- ・ 宿題はきちんとやり、期限までに提出している。
- ・ 学習時間が長く、携帯電話やスマートフォン、テレビや動画などの視聴に費やす時間が短い。

⇒ 家庭学習の習慣化を図る。

- ・ 発達の段階に応じた宿題や自主学習について検討し、全教職員の共通理解のもと推進する。特に、提出された宿題を適切に評価し、授業で活用したり、事後指導したりする。
- ・ 家庭学習の重点期間を設けたり、「宮っ子ダイアリー」の毎日の記録のページを活用したりして、家庭学習の時間を確保するとともにその内容等を点検し改善する。
- ・ 「スマホ・ケータイ宮っ子ルール共同宣言 Ver.2」に基づく取組を推進する。

### 家の人との関わり等

- ・ 学校生活や世の中のこと、自分の夢などについて家の人と話すことがある。
- ・ 家の方は、あなたの生活態度に関心があり、必要な注意やアドバイスをしてくれる。

⇒ 家庭と連携・協働して認め励ます教育を推進する。

- ・ 学校の方針や取組、生徒の成長などについて家庭に向けた情報発信を積極的に行うとともに、家庭と連携・協働しながら生徒のよさを認め励まし、自己肯定感を育てる。

### 地域や社会への関心等

- ・ 本や新聞を読んでいる。
- ・ 社会のできごとに関心があり、自分から進んで情報を集めたり、社会で問題になっていることについて、どうすればよいかを考えたりすることがある。
- ・ 他国の人々や文化について理解し、尊重しようとしている。

⇒ 地域や社会に対する関心を高める指導を工夫する。

- ・ 本や新聞記事等から得た情報、感想などを紹介し合う活動を取り入れる。
- ・ 各教科や総合的な学習の時間における「宇都宮学」等において、社会や身近な地域の問題等に目を向け、それらの事象を調べたり、解決するための方法を考えたりする学習を行う。